

議長（志村 忠昭）

ご異議なしと認めます。

よって、会期は、本日より12月15日までの9日間とし、先に言いました日程によることに決定致しました。

日程第3、諸般の報告を行います。

まず、議長報告であります、「請願の撤回について」の件が1件ございます。12月3日木曜日に、請願者、及び紹介議員より「請願の撤回について」の件が提出され、同日受理しました。

これにより、会議規則第20条に基づき、「白方幼稚園について町の対策を求める請願書」を撤回したことを報告いたします。

それにより、本日までに受理した請願は3件ですが、1件撤回しましたので、お手元に配付いたしました請願文書表は2件でございます。

これを会期中の、総務教育常任委員会に付託しましたので報告をいたします。次に、監査委員より、例月現金出納検査執行状況報告を受けております。

報告は、印刷配付をしておりますので、朗読は省略を致します。

次に、委員長報告を行います。

最初に、10月13日に開催されました総務教育常任委員会の、委員長報告を求めます。

総務教育常任委員会委員長、古川幸義君。

総務教育常任委員会委員長（古川 幸義）

おはようございます。

総務教育常任委員会結果報告について報告いたします。

平成27年10月13日に開催した総務教育常任委員会の結果を次のとおり報告いたします。

審議事項。

1. 今後の白方幼稚園の在り方について、2. 多度津町生活排水処理整備計画（案）について。

審議結果。

1. 今後の白方幼稚園の在り方について、2. 多度津町生活排水処理整備計画（案）についての説明があり、これに対して、委員、傍聴議員より、一つ、町外へ入園している園児は何名なのか。

一つ、就園前の子どもを持つ保護者への意見聴取は行っているのか。

一つ、幼稚園の預かり保育の環境を整備してほしいとの意見が保護者から出ているが、検討しないのか。

一つ、白方幼稚園を廃園する方向で検討するのではなく、3年ほど期間を延長し、町全体で入園児を増やす方法を考えていただきたい。

- 一つ、校区外の幼稚園へ通園は、いつからできるようになったのか。
- 一つ、白方幼稚園から他地区の幼稚園へ通園させることにより、子どもと保護者にとって、ストレスになるなどの弊害が出る恐れがあるため、白方幼稚園を存続していく方向で取り組んでもらいたい。
- 一つ、幼稚園教育構想に掲げられている多度津町教育課題検討委員会はどのような構成になるのか。
- 一つ、白方地区に定住する人に対して、白方幼稚園の教育費を無料にするなどの政策を出して、人口減少に歯止めをかける考えはないのか。
- 一つ、白方地区を盛り立てるといふ思いの中、白方小学校の改築工事に取り掛かっていくため、白方幼稚園については慎重に考えて対応していただきたい。
- 一つ、平成23年度で公共下水道の整備が止まっているが、再開する考えはないのか。
- 一つ、公共下水道整備済み区域において、新たに家を建てる場合は公共下水道に接続しなければ建築確認が下りないのか。
- 一つ、公共下水道の整備検討対象区域89箇所において、対象区域の住民に確認しているのか。
- その他多くの意見、要望があり、それに対して執行部より、一つ、町外へ入園している園児は、白方地区において1名確認しているが、それ以外は確認していない。
- 一つ、就園前の子どもを持つ保護者への意見聴取は、まだ行っていない。
- 一つ、幼稚園の預かり保育の環境整備を行うと、私立である保育所の運営を圧迫することになるので、10年前に教育委員会と保育所の間で取り決めた内容で運営を行いたい。
- 一つ、子どもたちを健全に育てていくためには、共同生活が大事であるが、今の白方幼稚園では教育環境が整っておらず、募集停止を先延ばしにすることにより、益々、教育環境が悪くなるため、平成28年度以後は状況を見て、判断したい。
- 一つ、幼稚園の校区割は小学校の校区割に準じているため、校区外の幼稚園へ通園は、前からできるようになっている。
- 一つ、現在の園児数から推計すると、今後、幼稚園の数は少なくなることから、全体を考える中で、白方幼稚園の存続は難しいと考えているため、平成28年度の募集を見て、議員皆さんに再度諮りたいと考えている。
- 一つ、多度津町教育課題検討委員会の委員は、要綱に基づいて、学識者、教育関係者等で構成するようになる。
- 一つ、白方地区に定住する人に対して、白方幼稚園の教育費を無料にするな

どの政策は、他の自治体の園児数が少なくなり、同じ問題を抱えることになるので、提案し難いと考えている。

一つ、白方小学校の改築工事に取り掛かっていくが、多度津町の小学校と幼稚園の適正な数は今から考えていくので、それを踏まえた上で、最適な教育環境を作っていきたい。

一つ、公共下水道の整備は高額な費用を要し、整備するのに効率が良い場所がないため、再開は考えていない。公共下水道区域外については、合併処理浄化槽の整備を進めていきたい。

一つ、公共下水道整備済み区域において、新たに家を建てる場合は、公共下水道に接続することが法令等で決まっているので接続しなければいけない。

一つ、公共下水道の整備検討対象区域89箇所の方だけでなく、多度津町民全員に対して、生活排水処理整備計画の内容について、パブリックコメントで意見を募集し、再度検討した中で、12月定例会の委員会の中で報告したいと思っている。

以上のような答弁があり、審議の結果、1. 今後の白方幼稚園の在り方について、2. 多度津町生活排水処理整備計画（案）については、委員会として了承した。

またその他として、執行部より1件の報告がありました。

以上で総務教育常任委員会の結果報告を終わります。

議長（志村 忠昭）

これより、ただいまの委員長報告に対する質疑を開始いたします。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

議長（志村 忠昭）

質疑なしと、認めます。

これをもって、質疑を終結いたします。

お諮りいたします。

総務教育常任委員会委員長報告について、これを了承することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（志村 忠昭）

ご異議なしと認めます。

よって、総務教育常任委員会委員長報告は了承することに決定いたしました。